

指定管理者評価票（令和元年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町心身障害者（児）福祉センター「あゆみ」  
 担当部課係：福祉部 福祉課 障がい者支援係

1 指定管理者の名称	社会福祉法人 あかつきコロニー
2 指定管理の期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	長期にわたり心身障がい者に対し、授産事業を提供し支援を行ってきた実績と経験及び、民間事業所ならではの柔軟性のあるサービス内容を提供することで、心身障がい者の自立支援を効率的に実施することを目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 心身障害者（児）地域活動支援センター事業及びタイムケア事業 2 施設、設備等の維持管理に関する業務 3 総合的管理業務
5 施設の概要	<p>施設名：瑞穂町心身障害者（児）福祉センター「あゆみ」                  所在地：瑞穂町大字石畑2193                  サービス内容：心身障害者（児）地域活動支援センター事業及びタイムケア事業</p> <p>(1)施設及びサービスの内容</p> <p>(2)規模 敷地面積 1,016.13㎡ 建築面積 305.21㎡ 延床面積 546.15㎡（1階282.05㎡、2階264.10㎡） 構造 鉄筋コンクリート造2階建</p> <p>(3)設備内容 1階：地域デイサービス事業（通所訓練室、研修室、休憩室、事務室、トイレ、シャワー室、化粧室） 2階：授産事業（作業室1、作業室2、指導員室、更衣室、談話コーナー、化粧室、トイレ、シャワー室） 共有部分（機械室、エレベータ、玄関ホール、倉庫）</p> <p>(4)設置年月及び経過年数（導入時） 設置年月：平成7年4月 （導入後14年経過）</p> <p>(5)建設費用 288,400,000円</p> <p>(6)大規模改修の経緯と費用 該当なし。</p> <p>(7)維持補修・改修の予定及び時期 外壁補修工事、2階作業室床改修工事 平成27年度 エアコン室外機修繕、女子トイレ修繕、電気温水器取替、混合水栓取替、電気湯沸器修繕 平成28年度 エアコン室外機修繕、非常通報装置設置、防犯カメラ設置 平成29年度 ブロック塀控え壁設置 平成30年度</p>
6 指定管理における具体的な目標	<p>(1)利用者へのサービス水準の向上目標 利用者の状態や障がい特性に特化したプログラムの設定を行うことにより、作業能力の向上を図ることを目的としている。また、生活全般への支援も行き、社会生活能力の向上に努める。</p> <p>(2)運営の効率化に関する目標 運営委員会を定期的に開催し、運営方法等について検討を行い、効率化を図る。</p> <p>(3)施設維持管理費に関する削減目標 事業計画及び予算に基づき、適切な管理を行い、管理費の削減に努める。</p> <p>(4)その他の目標 地域交流事業を通して、施設の事業および障がい者への理解の向上を目指す。</p>
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	個別性を考慮した支援プログラムの導入について、問題行動の減少、作業への意欲向上、生活内容の改善等が図られたという意見が得られている。

指定管理評価票（令和元年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町心身障害者（児）福祉センター「あゆみ」

担当部署関係： 福祉部 福祉課 障がい係

業務評価指標		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
協定書・仕様書で示した事項	地域活動支援センター事業及びタイムケア事業	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
	施設、設備の維持管理等に関する業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
	個人情報の保護と適切な管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
	効率的な運営	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	295	293	293	292	293	日	
	実開館日数	地域事業	292	293	293	292	293	日
		タイムケア事業	291	293	293	292	293	日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	1	1	1	1	1	人	
	日常清掃	職員が毎日床清掃	職員が毎日床清掃	職員が毎日床清掃	職員が毎日床清掃	職員が毎日床清掃		
	特別清掃（床・特別清掃）	床清掃6、特別清掃2	床清掃6、特別清掃1	床清掃6、特別清掃2	床清掃6、特別清掃2	床清掃6、特別清掃2	回/年	
職員数の確保及び適切な配置 (※平成24年度分より追加)		町仕様書 現状 地域事業利用者2.5人対1人、2人対1人 タイムケア利用者3人対1人、2.5人対1人	町仕様書 現状 地域事業利用者2.5人対1人、2人対1人 タイムケア利用者3人対1人、2.5人対1人	町仕様書 現状 地域事業利用者2.5人対1人、2人対1人 タイムケア利用者3人対1人、2.5人対1人	町仕様書 現状 地域事業利用者2.5人対1人、2人対1人 タイムケア利用者3人対1人、2.5人対1人	町仕様書 現状 地域事業利用者2.5人対1人、2人対1人 タイムケア利用者3人対1人、2.5人対1人		

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		37,846,000	39,394,000	39,394,000	39,394,000	39,394,000	円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		0	0	0	0	0	円
職員の投入実態		105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	円（時間*人/週）
物品の提供実態		0	30,823	0	17,820	4,474,276	円
インプット指標合計		37,951,000	39,529,823	39,499,000	39,516,820	43,973,276	円
提供物品の名称と数量：			AED用バッテリー、AED除細動パッド		AED用バッテリー	AED用除細動パッド、発電機、福祉車両	

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
施設延べ利用者数		7,437	7,215	6,472	6,253	5,699	人/年間	
実利用者内訳	事業別延べ利用者数	地域事業	3,542	3,576	3,337	3,236	3,076	人/年間
		タイムケア事業	3,895	3,639	3,135	3,017	2,623	人/年間
	事業別利用者数	地域事業	16	15	16	14	15	人/年間
		タイムケア事業	28	23	21	17	16	人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	295	293	293	292	293	日/年	
	稼働日数	292	293	293	292	293	日/年	
	稼働率	99%	100%	100%	100%	100%		
利用料収入	地域事業収入	13,625,191	13,872,955	13,013,369	12,598,049	11,966,858	円	
	タイムケア事業収入	13,984,300	13,043,820	11,246,820	11,339,319	10,653,499	円	
	負担金収入	870,600	790,600	719,600	689,424	650,819		
その他収入	事務所家賃 *	0	0	0	0	0	円	
	事務所光熱水費 *	0	0	0	0	0	円	
	自主製品売上、行事参加負担金、雑収入	479,366	521,413	344,139	372,894	342,790	円	
	計	479,366	521,413	344,139	372,894	342,790	円	

※ 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		37,846,000	39,394,000	39,394,000	39,394,000	39,394,000	円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		105,000	135,823	105,000	122,820	4,579,276	円
利用料収入		28,480,091	27,707,375	24,979,789	24,626,792	23,271,176	円
その他収入		479,366	521,413	344,139	372,894	342,790	円
収入の部 合計	算定	66,910,457	67,758,611	64,822,928	64,516,506	67,587,242	円
	実収入	66,805,457	67,622,788	64,717,928	64,393,686	63,007,966	円

支出の部		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2
人件費		51,922,147	52,169,595	51,669,589	51,066,935	52,022,216	円
事務費		615,312	6,635,885	6,167,045	3,928,298	3,729,634	円
事業費		11,514,638	6,402,580	5,337,321	6,739,453	6,785,824	円
その他		700,000	396,600	102,220	88,924	122,345	円
支出の部 合計		64,752,097	65,604,660	63,276,175	61,823,610	62,660,019	円

収支差引	算定	2,158,360	2,153,951	1,546,753	2,692,896	4,927,223	円
	実収支	2,053,360	2,018,128	1,441,753	2,570,076	347,947	円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (H27)	着衣での体温調整や、各事業のミーティングで節電および節水を繰り返し呼びかけた。また不要な電気をこまめに消灯するようにした。人件費については、利用者数に応じて職員配置を日々において調整した。
	H28	着衣での体温調整や、職員会議・各事業のミーティングで節電および節水を繰り返し呼びかけた。また不要な電気をこまめに消灯するようにした。水道メーターも毎日チェックし、使用量等具体的に知らせて意識付した。人件費については、利用者数に応じて職員配置を日々において調整した。
	H29	職員会議・各事業のミーティングで節電および節水を繰り返し呼びかけた。また不要な電気をこまめに消灯するようにした。水道メーターも毎日チェックし、使用量等具体的に知らせて意識付けた。FAX受信をデータ化し、不要なFAXは紙出力せず削除した。人件費については、利用者数に応じて職員配置を日々において調整した。
	H30	ミーティング等で節電および節水を繰り返し呼びかけた。不要な電気をこまめに消灯すると共に、水道メーターも毎日チェックし、職員へ使用量等具体的に知らせて意識付けた。FAX受信をデータ化し不要なFAXは紙出力せず削除した。送迎車両もなるべく少ない台数で運行するようにし、燃料費の節約を行った。人件費については、利用者数に応じて職員配置を日々調整した。
	R1	ミーティング等で節電および節水を繰り返し呼びかけた。照明の間引きや不要な電気をこまめに消灯すると共に、水道メーターも毎日チェックし、職員へ使用量等具体的に知らせて意識付けた。FAX受信をデータ化し不要なFAXは紙出力せず削除した。送迎車両もなるべく少ない台数で運行するようにし、燃料費の節約を行った。人件費については、利用者数に応じて職員配置を日々調整した。

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	前指定末 (H27)	地域活動支援センター事業では、障害の特性（発作やパニック）における利用日や利用時間の急な変更可能な限り対応できる体制とした。また、日本でんかん協会から講師を招き、全職員を対象にした研修を実施し、利用者のてんかん発作に対する対処法などについて学び、発作への対応ができるようにしている。
	H28	地域活動支援センター事業では、障害の特性（発作やパニック）における利用日や利用時間の急な変更可能な限り対応できる体制としている。外部専門員による機能訓練や心理指導のもとストレッチや支援方法等の指導を定期的実施した。各事業においてケース会議を随時行い利用者支援の向上を図った。車いす用者の体重計を本部より借り受け毎月体重を計測する等、健康管理につとめた。
	H29	地域活動支援センター事業では、障害の特性（発作やパニック）における利用日や利用時間の急な変更可能な限り対応できる体制としている。外部専門員による機能訓練や心理指導のもとストレッチや支援方法等の指導を定期的実施した。タイムケア事業では学校行事等で平日に振替休校になったとき、それまでの午前11時からの利用を午前9時からの利用にして、利便性を高めた。
	H30	地域活動支援センター事業では、障害の特性（発作やパニック）における利用日や利用時間の急な変更可能な限り対応できる体制としている。外部専門員による機能訓練や心理指導のもとストレッチや支援方法等の指導を定期的実施した。前年度に引き続き、タイムケア事業では学校行事等で平日に振替休校になったとき、午前11時からの利用を午前9時からの利用にして、利便性を高めた。
	R1	地域活動支援センター事業では、ケース会議を頻繁に行い、利用者支援の向上と共通認識を高め、職員のスキル向上に努めた。外部専門員による機能訓練や心理指導のもとストレッチや支援方法等の指導を定期的実施した。タイムケア事業では、引き続き学校行事等で平日に振替休校になったとき、午前11時からの利用を午前9時からの利用にして、利便性を高めた。
プログラム等質の改善	前指定末 (H27)	地域活動支援センター事業では、障害の特性に合わせたグループ活動の日数を増やしている。また創作活動や音楽療法を取り入れることにより表現の機会の提供や地域との交流促進や27年度は日帰り旅行を新たに実施した。タイムケア事業では、利用時間の長い長期休み期間を利用して、保護者の希望等によるボウリング大会を保護者の交流も含め実施。さらに夏季期間は夕涼み会も実施。
	H28	地域活動支援センター事業では、地域の行事への参加や他団体との交流会等、社会交流活動を積極的に行った。また創作活動や音楽療法も定期的実施し表現の機会の提供を行った。日帰り旅行も群馬まで出かけた。タイムケア事業では、利用時間の長い長期休み期間を利用して、社会体験としてボウリング大会、ボランティアによる演奏会や夕涼み会を数回も実施した。また将来の進路を視野に入れた訓練の一部開始した。クリスマス会は初めて両事業合同で実施した。
	H29	地域活動支援センター事業では、地域の行事への参加や他団体との交流会等、社会交流活動を積極的に行った。また創作活動や音楽療法も定期的実施し表現の機会の提供を行った。毎月予定表を作りストレッチや機能訓練等を実施、身体機能維持に努めた。タイムケア事業では、利用時間の長い長期休み期間を利用して、社会体験としてボウリング大会、ボランティアによる演奏会や夕涼み会を実施した。また将来の進路を視野に入れた個別支援計画を作成し、支援に反映させた。
	H30	地域活動支援センター事業では、地域の行事への参加や他団体との交流会等、社会交流活動を積極的に行った。また創作活動や音楽療法も定期的実施し表現の機会の提供を行った。ストレッチや機能訓練等を実施、身体機能維持に努めた。長時間の散歩等も行い精神的な安定や運動不足解消もはかった。タイムケア事業では、利用時間の長い長期休み期間を利用して、社会体験としてボウリング大会、ボランティアによる演奏会や夕涼み会、外食会等を実施した。また将来の進路を視野に入れた個別支援計画を作成し、職員が情報を共有し支援に反映させた。
	R1	地域活動支援センター事業では、ストレッチや機能訓練等を計画的に行い身体機能の維持に努めた。また創作活動や音楽療法も定期的実施し表現の機会の提供を行った。前年度タイムケア事業で使用していた個別支援計画の様式を見直し、個別目標を具体的に決めて、目標達成に沿った支援に取り組んだ。こだわりの強い利用者には長時間の散歩等を行い精神的な安定を図った。タイムケア事業では、利用時間の長い長期休み期間を利用して、社会体験としてボウリング大会、ボランティアによる演奏会や夕涼み会、外食会等を実施した。また将来の進路を視野に入れた個別支援計画を作成し、職員が情報を共有し支援に反映させた。
利用者の満足度 (アンケート等客観的もの)	前指定末 (H27)	地域活動支援センター事業では、最大で週6日の利用を含め希望どおりに利用できることに高評価をもらっている。あゆみで実施していない昼食提供の要望があった。タイムケア事業では、同様のサービス（障害児通所支援事業）を提供する他の民間事業所が増えたこともあり、あゆみで実施していない自宅への送迎サービスの要望があった。
	H28	地域活動支援センター事業では、最大で週6日の利用を含め希望どおりに利用できることに高評価をもらっている。あゆみで実施していない入浴サービスや、延長支援の要望があった。タイムケア事業では年間通しての利用希望をとり、希望通りに利用できたことに高評価を得ている。同様のサービス（放課後等デイサービス事業）を提供する他の民間事業所が増えたこともあり、あゆみで実施していない自宅への送迎サービスの要望があった。
	H29	年度末に保護者にアンケート調査を実施した。活動内容や利用者同士の交流、利用者の気持ちの尊重の設問に対して、自己発信が難しい利用者もいるので一部わからないという意見もあったが、過半数以上の方から満足という回答をいただいた。
	H30	保護者との個別面談を2回行い、あゆみでの活動内容等を説明し、同時にご家族等の希望や家での様子を伺い、利用者支援に反映させた。保護者の多くから満足度が高い内容の話を頂いた。
	R1	年2回の保護者会や保護者との個別面談を2回行い、あゆみでの活動内容等を説明し、同時にご家族等の希望や家での様子を伺い、利用者支援に反映させた。保護者の多くから満足度が高い内容の話を頂いた。令和2年度にアンケート調査実施予定。

安全管理等 ※平成24年度より追加	前指定末 (H27)	事故・苦情対応	常時各事業担当で対応。また場合により、社会福祉協議会事務局でも対応している。
		事故防止策	「ヒヤリハット」等を作成し、職員全員で共有している。
		避難訓練等	各事業ごとに毎月実施。また、全体でも総合防災訓練や災害時引渡し訓練を実施。町防災訓練では福祉避難所設置訓練を実施した。
	H28	事故・苦情対応	常時各事業担当で対応。
		事故防止策	「ヒヤリハット」等を作成し、職員全員で共有している。
		避難訓練等	各事業ごとに年7回ずつ実施。また全体でも総合防災訓練や災害時引渡し訓練、福祉避難所設置訓練を実施した。
	H29	事故・苦情対応	常時各事業担当で対応。
		事故防止策	「ヒヤリハット」等を作成し、職員全員で共有している。
		避難訓練等	避難訓練はほぼ毎月実施した。また消防署協力のもと総合防災訓練の実施や救命講習会を実施した。災害時引渡し訓練も実施した。
	H30	事故・苦情対応	常時各事業担当で対応。
		事故防止策	「ヒヤリハット」等を作成し、職員全員で共有している。
		避難訓練等	避難訓練はほぼ毎月実施し、災害時引渡し訓練も実施した。また町主催の防犯講習会とあゆみ独自でも防犯講習会を実施した。
	R1	事故・苦情対応	常時各事業担当で対応。
		事故防止策	「ヒヤリハット」等を作成し、職員全員で共有している。
		避難訓練等	避難訓練はほぼ毎月実施し、災害時引渡し訓練も実施した。今年度は消防署との合同訓練を1回行った。町主催の防犯講習会に参加した。

その他

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2		
建設経費（元利返還費用）	建設費	288,400,000	288,400,000	288,400,000	288,400,000	288,400,000		円	
	償還利息	0	0	0	0	0		円	
利用者1人あたりの経費 (指定管理料等及び指定管理料等+建設経費)	利用者数	7,437	7,215	6,472	6,253	5,699		人/年間	
	管理経費または指定管理料等	37,951,000	39,529,823	39,499,000	39,516,820	43,973,276		円	
	管理経費または指定管理料等/人	5,103	5,479	6,103	6,320	7,716		円/人	
	(管理経費または指定管理料+建設費)/人	43,882	45,451	50,664	52,442	58,321		円/人	
修繕費（協定等に基づく指定管理者負担上限額：20万円/年（施設）、10万円/年（車両））	指定管理者が行なった修繕	件数	11	8	9	6	4	件	
		金額	663,953	240,831	427,379	176,008	253,731	円	
	内容	自火報感知器、空調、照明器具安定器、トイレ便器、給湯器フロー、ドア	トイレドア鍵、自転車（利用者用）給湯器水栓、給湯器フロー、ドア	照明スイッチ、自転車（利用者用）空調機器、リフト車両、非常照明蓄電池、火災報知器蓄電池	空調機器、ドアかぎ、リフト車両テールランプ交換、照明器具交換、トイレ洗浄ボタン交換	空調機器修理、送迎車両リフト修理、換気排出口漏水修繕、トイレ洗ドアかぎ交換			
		件数	3	2	3	1	0	件	
	町が行なった修繕	金額	8,964,000	2,176,200	1,627,087	719,280	0	円	
		内容	1階空調室外機圧縮機交換、外壁補修工事、2階作業室床張替	エアコン室外機修繕、女子トイレ修繕、電気温水器取替、混合水栓取替、電気湯沸器修繕	エアコン室外機修繕、非常通報装置設置、防犯カメラ設置	コンクリートブロック塀控え壁設置			
	立ち入り検査状況								
	違法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	自家用電気工作物定期点検（法定年6回）	6	6	6	6	6		回
		消防設備定期点検（法定年2回）	2	2	2	2	2		回
		建設設備定期点検（法定年1回）	1	1	1	1	1		回
特殊建築等定期点検（法定3年に1度）		0	1	0	0	1		回	
エレベーター点検（法定年1回）		12	12	12	12	12		回 任意追加	
外壁打診調査（法定10年に1回）		25年度実施							回

※修繕費の項目は平成22年度分評価より記載

総括

		H28	H29	H30	R1	R2	
経費比較 (指定前と指定後) ※実経費では、「職員の投入実態」 及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	39,529,823	39,499,000	39,516,820	43,973,276	円
		前指定末 (H27)	37,951,000	37,951,000	37,951,000	37,951,000	円
		比較	1,578,823	1,548,000	1,565,820	6,022,276	円
	実経費	指定後	39,394,000	39,394,000	39,394,000	39,394,000	円
		前指定末 (H27)	37,846,000	37,846,000	37,846,000	37,846,000	円
		比較	1,548,000	1,548,000	1,548,000	1,548,000	円
評価	前指定末 (平成27年度)						
1次評価 担当課	地域活動支援センター事業では、障がいをお持ちの方の居場所としての役割を担っている。重度障害を持つ方及び多動の方の利用増加が目立つ。27年度は地域の行事への参加を積極的に行い、社会参加を行った。タイムケア事業については、夏休み等長期休暇期間での定員を超える利用希望があったが、利用日数の調整等を行い対応することができ利用者からも高い評価を得ている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 重度障がいを持つ方及び多動性障がいを持つ方の利用増加が目立つ中、障がいをお持ちの方の居場所としての役割を果たしている。 【主な指摘】 地域活動支援センター事業、タイムケア事業とも順調に運営されている。施設の性格上専門的であり、継続して心身障がい者（児）の自立支援を支える施設として適正な運営を期待する。						
評価	平成28年度(1年度目)						
1次評価 担当課	平成28年4月から指定管理者が変更となり1年が経過した。当初は、保護者から指定管理者変更を不安視する声もあったが、現在では、そのような意見を持たれている保護者はおられず、順調に指定管理者変更が行われた。地域活動支援センター事業では、重度障害を持つ方及び多動の方が利用されているが、法人がこれまで培ってきた経験を活かして、重度化への対応を行っている。タイムケア事業では、将来の進路を見据えた指導を普段の活動の中に取り入れたり、特別支援学校との連携を強化するなど特色ある支援を行っている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 平成28年4月から新たな指定管理者が指定されたが、順調に移行することができた。地域活動支援センター事業、タイムケア事業とも、受託法人のこれまで培ってきた経験がいかされている。 【主な指摘】 新たな指定管理者は、スムーズに利用者を受け入れられ、適正に運営を行っている。受託法人の持つノウハウを両事業で存分にいかし、保護者・利用者から信頼される運営を期待する。						
評価	平成29年度(2年度目)						
1次評価 担当課	平成28年4月から指定管理者が変更となり2年が経過した。当初は、保護者から指定管理者変更を不安視する声もあったが、現在では、そのような意見を持たれている保護者はおられず、順調に指定管理者変更が行われた。地域活動支援センター事業では、重度障害を持つ方及び多動の方が利用されているが、法人がこれまで培ってきた経験を活かして、重度化への対応を行っている。タイムケア事業では、将来の進路を見据えた指導を普段の活動の中に取り入れたり、特別支援学校との連携を強化するなど特色ある支援を行っている。平成29年度はアンケートを実施するなど利用者の声を反映させる運営に努めている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 地域活動支援センター事業における重度化への対応、タイムケア事業における特別支援学校との連携の強化等、受託法人がこれまで培ってきた経験をいかした支援を行っている。また、アンケート調査を実施するなど、利用者の声を反映させる運営に努めている。 【主な指摘】 保護者へのアンケート調査の実施等の利用者の利便性や満足度を向上させる取組や改善を進める姿勢は評価できる。引き続き、利用者サービスの向上と安定的かつ適切な施設運営を期待する。						
評価	平成30年度(3年度目)						
1次評価 担当課	平成28年4月から指定管理者が変更となり3年が経過した。当初は、保護者から指定管理者変更を不安視する声もあったが、現在では、そのような意見を持たれている保護者はおられず、順調に指定管理者変更が行われた。地域活動支援センター事業では、重度障害を持つ方及び多動の方が利用されているが、法人が50年にわたって障がい者への支援を行ってきたこれまでの経験を活かし、重度化への対応を行っている。平成30年度にタイムケア事業で始めた個別支援計画の作成を次年度、地域活動支援センター事業で実施を予定するなど、将来の進路を見据えた指導を普段の活動の中に取り入れ、また、特別支援学校との連携を強化するなど、特色ある支援を行っている。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 地域活動支援センター事業における利用者の重度化への対応、タイムケア事業では、個別支援計画の作成と将来の進路を見据えた指導を普段の活動の中に取り入れ、また、特別支援学校との連携を強化するなど、特色ある支援を行っています。 【主な指摘】 保護者との面談での意見や要望を利用者支援に反映させるなど、職員も親切かつ丁寧な対応を心がけていることがうかがえます。引き続き、利用者個々に合った支援プログラムの充実と安定的かつ適正な施設運営に期待します。						
評価	令和元年度(4年度目)						
1次評価 担当課	地域活動支援センター事業では、重度障害を持つ方及び多動の方が利用されているが、法人が長年にわたって障がい者への支援を行ってきたこれまでの経験を活かし、重度化への対応を行っている。平成30年度にタイムケア事業で始めた個別支援計画を見直し、利用者個々の課題に対応する個別目標を定め、地域活動支援センター事業で利用を開始した。また、将来の進路を見据えた指導を普段の活動の中に取り入れ、特別支援学校との連携を強化するなど、特色ある支援を行っている。新型コロナウイルスの感染防止では、トイレ、活動エリアの消毒、室内換気、手洗い、マスク着用を実施している。						
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 地域活動支援センター事業における利用者の重度化への対応、タイムケア事業で始めた個別支援計画を見直し、地域活動支援センター事業で利用を開始した。また、特別支援学校との連携を強化するなど、特色ある支援を行っている。 【主な指摘】 タイムケア事業で始めた個別支援計画を見直し、個別目標を定めるなど、事業内容と効果の検証をしていることを評価する。引き続き、保護者との個人面談の結果を利用者支援に反映させるなど、職員の親切かつ丁寧な対応に期待する。						